

## 不燃ごみ処理施設の火災について



平成 31 年 2 月 3 日に不燃ごみとして回収されたごみを破碎処理後に機械分別した破碎可燃ごみを貯留しておくホッパー内で火災が起きました。消防により約 1 時間後に鎮火しましたが、貯留ホッパーと搬送コンベアが被災し、復旧まで約 2 カ月かかりました。

火災の原因となるような残留物は見つかりませんでした。火種のないところからの出火ということでリチウムイオン電池が原因ではないかと思われます。

放電していないリチウムイオン電池等の充電式電池は処理工程の中の破碎機で粉々にする際の衝撃で発火する恐れがあります。



(画像：出典元「日本容器包装リサイクル協会」)

様々な用途に使われるリチウムイオン電池等の充電式電池による火災が多発しています。

充電して使う電気製品にはリチウムイオン等の充電式電池が入っています。

不燃ごみとして出す前にもう一度確認をお願いします。

リサイクルマークの付いた小型充電式電池は、回収している協力店のリサイクルボックスに入れてください。詳しくは、JBRC のウェブサイトをご覧ください。

[https://www.jbrc.com/general/recycle\\_kensaku/](https://www.jbrc.com/general/recycle_kensaku/)

(回収先検索：一般社団法人 JBRC 外部リンク)